



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

# 中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

1 月号

文責 樋口 正 則

## 新年の抱負

校長 高橋 直樹



新しい年を迎え、速いもので半月が経ちました。コロナウイルスによる感染症が拡がる中で、自分自身の抱負と生徒への願いを始業式で伝えました。「やるべきこと、当たり前のことをきちんとできる人でありたいし、皆さんにもそのような人になってほしい」と。このような人こそが周囲から信頼される人であることを伝えました。『凡事徹底』を自分自身の、そして今年の中伊豆中学校の目標にしていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様方にも中伊豆中学校、及び中伊豆中生へのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、始業式の中で、各学年を代表する生徒が学期の始まりにあたり、新学期の抱負を語りましたので掲載します。

### 1 年 さん



私の3学期の目標は2つあります。

1つめは「何事にも諦めないで努力する」ことです。

勉強では、苦手な教科から逃げてしまい、あまり自学などで取り組むことができなかったです。ですから、授業中に分からなかったところやテストで間違えた問題などをしっかり復習して苦手な教科でも少しは「分かる」と言えるように努力していきます。

2つめは「けじめ」です。

私は陸上部で部長を務めています。陸上部は部員全員が一

年生ということもあり、ふざけてしまうことが多くあります。しかし、今のままだと、良い結果が出せないし、次に入ってくる新入生のお手本にもなれないと思うので、まずは、私自身からけじめをつけて部活動に取り組みます。

### 2 年 さん

2年生最後の学期となりました。2年生の最初から、コロナウイルスの影響で休校になり、毎日時間がたくさんありましたが、自宅学習ではなかなか身が入らず、今振り返ると、とても時間の使い方が下手だったように思います。好きな動画を観たり、ゲームをしたりと、自分の欲を抑えることができず、真剣に勉強に取り組むことができませんでした。

3か月間の休校を終え、やっと再開した学校でしたが、行事等もこれまでのようにはできず、もどかしく感じる学校生活でした。今まで当たり前だと思っていた生活ができなくなり、時間を大切にしようと思うようになりました。そう思い始めてから、時間の使い方を考えるようになり、計画を立てて物事に取り組めるようになったと思います。

2学期になってようやく勉強にも前向きに取り組むことができるようになり、自分で努力したことが少しずつですが結果になって表れてきたので、とても嬉しかったです。

学校、世間もまだまだコロナウイルス感染拡大で落ち着かない状況ですが、大きく社会が変わっていく中で、自分を見失わないように、3学期も夢や目標を定めて勉強、部活動を精一杯頑張りたいと思います。

私は英語が苦手ですが自信がありません。ですが、今月には英検に挑戦します。英検に向けた勉強を機会に、春までには英語の苦手意識を克服していきたいと思っています。そして、3年生になった時にすべての科目でよい結果を出し、いいスタートが切れるように準備していきたいと思っています。

あと3ヶ月で中伊豆中学校の最上級生になります。先輩として下級生の良き模範となるよう行動や生活態度にも気を緩めることなく、常に意識を高く持って、残り1年となった中学校生活が充実したものとなるよう、過ごしていきたいと思っています。



3年

さん



今年一番力を入れたことは学習です。

私は、3年生になってから「そろそろ受検じゃん。勉強たくさんしないとな・・・」と思うことはたくさんありました。でもその度に、部活動を引退してからでいいや。とのん気に過ごし、「部活を引退したら・・・、緑流祭が終わったらちゃんと取り組もう」と、先延ばし先延ばしにしていたら、「まだまだ先だ」と思っていた受検がもう目の前になっていました。

そして、前期終わりの面談で数学の成績に目をやると、信じられないほど悪い成績がついていました。これ以上のん気にしていただけないと考え、面談をきっかけに数学を中心に積極的に授業に取り組むことにしました。自信を持って解けた解答には、進んで手を挙げて発表しました。今まで空白だらけのプリントは、少しずつ自分の手で埋められるようになりました。これは、自分の意思が変わっただけでなく、意思が変わった結果、授業を以前よりもしっかりと聞き、その内容が理解できて問題を解けるようになったんだと思います。

そして、高校に送られる最後の成績を自分の目で確認できたとき、すごくうれしかったです。自分の努力が報われたような感じがしました。自分の頑張りが結果で現れるとすごくいい気分になります。漢検を受けたときもそうでした。休み時間や家庭学習などの時間を使ってひたすら過去問を解いて・・・。「合格」の文字を見たときには、「頑張った良かったな」と、いう気持ちになりました。

それで、「これは受検と同じだ」と感じました。「自分が努力したらその高校へ入学できる」という結果がついてくるということです。

今まで手を挙げるなんてこともなかった授業も、自分の意思で変えることができた。だから、時間をかけて取り組もうとしなかった学習への意思も「自分次第で変えられる」と、思います。今年、それに力を入れ、受検で合格したいと思います。また、受検が終わってからも努力を継続していきたいと思います。

## 体罰調査についてのお願い!

学校教育法に、教員は、児童・生徒に体罰を加えてはならないと明記されています。本校でも、いつ、いかなる状況においても子どもたちに肉体的苦痛を与えることは絶対にしてはいけないことと全教職員が自覚し、教育活動にあたっているところです。もし、お子様などから行き過ぎた指導が懸念されるような情報がありましたら、校長または教頭までご連絡をお願いいたします。

## 「セクシャル・ハラスメント(セクハラ)」って何だろう

「セクシャル・ハラスメント(セクハラ)」とは、相手を不快にさせる性的な発言や行為のことをさします。下記のような状況が見られた場合は、校長または教頭までご連絡をお願いいたします。

中伊豆中学校【TEL 83-0032】

- (例)・みんなの前で、個人的な容姿や体のことを言われて、いやな気持ちになった。
- ・「女のくせに」とか、「男のくせに」など、性別で決めつけられて、いやな気持ちになった。
  - ・道を歩いたり、友達と集まったりしているときに体をじろじろと見られて、いやな気持ちになった。
  - ・体や頭をなでられて、いやな気持ちになった。
  - ・携帯電話などを使い、いやらしい画像が、メールやラインで送られてきた。
  - ・脚などを写真に撮られた。
  - ・携帯電話などで、「二人きりで会ってみよう」などと誘われた。

